



2025年11月1日発行

発行 仙北市議会

編集 広報編集特別委員会



ミヤマウスユキソウ



ミヤマキンバイ



ミヤマアキノキリンソウ



ハクサンフウロ

■斎藤 文彦さん(西木町桧木内) 撮影
「秋田駒の高山植物」

第5回定例会、議員賛否 P2

一般会計補正予算
・第6回臨時会 P3

令和6年度歳入歳出決算 P4

一般質問 P5～8

総務文教常任委員会 P9

市民福祉常任委員会 P10

産業建設常任委員会 P11

議員活動紹介・人事案件
・編集後記 P12

—第5回(8月)定例会—

大雨の被災者を支援するための義援金受け付け中!

はじめに、8月19日から21日にかけて降り続いた大雨で、桜木内川が氾濫し大きな被害がありました。被災された市民のみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。

令和7年第5回定例会が、大雨直後の8月22日から9月12日まで22日間の会期で開催され、大雨の救援費や復旧費などの補正予算を可決し、被災箇所の早期復旧と被災者が一日でも早く通常の生活に戻れるよう要望しました。報告関係6件、条例関係7件、予算関係8件、決算認定関係12件、その他3件、人事関係12件の計48件が審議され、すべての議案が可決されました。

桜木内地区大雨被災者への義援金の受け付け(9月1日から12月26日まで受け付けます)

受付窓口 ①田沢湖市民センター ②西木市民センター ③角館市民センター ④田沢出張所 ⑤神代出張所
振込口座 ゆうちょ銀行〔口座番号 00140-9-365054 口座名義「秋田県仙北市大雨災害義援金」〕
問い合わせ窓口 仙北市会計課 【TEL 0187-43-1118】

インターナショナルスクール白岩仮校舎の 開校は来年8月に延期!!

- ①白岩仮校舎の寄宿舎にする空き家の選定やリフォーム工事が遅れているため来年8月の開校とした。
- ②行政手続きに精通した方と、寄宿舎の管理を担う方の2名を雇用し、白岩仮校舎の開校準備を進める。
- ③秋田県から学校としての認可を得ていないが、来年8月の開校までには寄宿舎も含めて認可を得る。必要な手続きが整い次第、生徒を募集する。

田沢湖本校舎の予定地情報

- ①本校舎の予定地の田沢湖ハーブ園周辺は埋蔵文化財調査が終了し、施設の建設等に問題はない。
- ②今後、ハーブ園の建物を調査し改修工事は来年3月～4月頃を想定している。市としては売却したい。
- ③8月下旬に経営者のジョン氏がハーブ園周辺を視察したところ、寄宿舎の建設地としては、手狭と感じていることから、黒沢工業団地を紹介している。

仙北市病院事業経営健全化計画策定準備が加速

令和6年度仙北市病院事業会計決算において、赤字額が8億961万円となり、資金不足比率が経営健全化基準の20%を遥かに超える35.1%になったことで、**法律により早期の資金不足解消を図るための「経営健全化計画」の策定を義務付けられるほど公営企業として危機的な状況に陥っています。**

経営健全化計画策定に向け個別外部監査契約を締結

経営健全化計画を策定するためには、法律により個別外部監査を求めなければならないことになっている。

契約先 秋田市南通 公認会計士 吉岡 順子

契約金 5,652,500円

期間 契約の日から令和7年12月1日まで

※「経営健全化計画」を策定するため、市民3千人を対象にアンケートを実施することですので、選出された方々
はご協力をお願い致します。

口黒鱒(クチグロマス)とクニマスの標本展示企画展開催

今年の2月から3月にかけて東京大学で見つかったクニマスの成熟前の「口黒鱒(クチグロマス)」と書かれた標本とそのほかの2体のクニマスの標本をクニマス未来館で展示しております。

議決結果/議員賛否 令和7年第5回 仙北市議会定例会(招集日:8月22日 最終日:9月12日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会					せん新 ぼく			公明党	共産党	無会派				
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁	中村和彦	西宮三春	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宣	澤田雅亮
議案第94号	令和6年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	9/12	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
議案第96号	令和6年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/12	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和7年度 一般会計補正額23億1,919万4千円を可決 累計265億9,756万5千円に

大雨災害の救援費や復旧費など3億4,392万円の補正予算可決

令和7年度 一般会計補正予算(第5号・第6号・第7号・第8号)の主な事業

「第6号」での災害対応	2,185万円	床上浸水住宅の応急処理、災害廃棄物処理、炊き出しの弁当代など
「第8号」での災害対応	3億2,207万円	上下水道設備修繕、林道・林業施設補修、市道・河川公園復旧費農道復旧費、旅館・店舗等営業再開補助金、内陸線災害復旧補助金など
ふるさと仙北応援基金積立金	12億円	ふるさと納税寄付金の増額見込み (令和7年度の当初見込み=15億円)
ふるさと納税ふるさと便 仙北市魅力発信事業費	6億5,280万円	ふるさと納税寄付金の増額に伴う返礼品等の経費
病院事業経営健全化計画 策定事業費	739万円	個別外部監査委託料、市民アンケート調査費用、経営健全化計画策定委員会開催費用
予防事業費	665万円	今年度から始めた带状疱疹予防接種助成で接種者の増加による助成金を増額
勤労青少年ホーム管理運営費	636万円	外ノ山テニスコートの水銀灯をLEDに切り替える経費

令和7年度一般会計補正予算関連の主な質疑

◆大雨災害復旧工事の見込みについて

質問 大雨による災害復旧工事をこれから発注することになるが、事業者も需要が多く、さらに降雪期を迎える状況で、年度内に確実に事業を完了することができるのか伺う。

答弁 (農林商工部長) 今回の補正では設計や農道等の暫時的な補修経費の計上であり、農家の方々からも来春の田植えまで間に合うかとの声があるが、今後、農地、農業用施設についての設計、災害査定というスケジュールであり、現時点では確実に間に合うとは言えない状況である。

(建設部長) 道路、河川については、10月末から11月初めに災害査定を受ける予定であり、年度内の完成は厳しいと思っている。

(企画部長) 内陸線の復旧については10月中旬を目指している。

◆大雨による被災中小企業支援事業費補助金について

質問 大雨で被災した中小企業への補助率と対象事業者数、補助金の使途について伺う。

答弁 中小企業の事業再建に係る費用の一部を補助するものである。補助の割合は4/5であり、施設の損壊等の復旧のための費用に対する補助である。5人以下の従業員数の企業は50万円が上限であり、5事業者分の予算である。現在は松木内地区の浅利酒店となか志ま旅館が対象である。

第6回臨時会(10月8開催)大雨災害対応補正予算

2億7,796万6千円を可決!!

神代小学校諸工事費	244万円	8/20の落雷で故障した地下タンクの油面計及び消雪設備交換の工事費
農業用施設災害復旧費	1億9,920万円	8/20の大雨災害での農地・農業用施設等の災害査定の委託料
林業施設災害復旧費	6,003万円	8/20の大雨災害での林業7路線12箇所の災害査定の委託料増額分
公共土木施設災害復旧費	1,628万円	8/20の大雨災害での市道築地線ほか6路線の舗装復旧及び鳥屋森橋欄干取替えに係る修繕料

農地・農業用施設の被害状況

被害種類	被害箇所数	被害額(千円)	備考
水田畦畔等	99	1,830,330	
水路損壊等	72	116,460	
農道損壊等	16	118,096	
頭首工損壊等	16	266,793	
合 計	203	2,331,679	

パイプハウス・水産関係・林道の被害状況

被害種類	被害数	被害額(千円)	備考
パイプハウス	12	16,213	園芸11、水稻育苗1
林道路肩崩落	85	158,890	30路線
養殖魚の流出 養殖施設破損	2	3,898	成魚500尾流出 幼魚6,100尾流出

令和6年度 歳入歳出決算認定なる！

8月定例会では令和6年度の決算についても審査されました。一般会計の決算額は歳入総額259億1,952万9千円、歳出総額252億4,426万4千円で、翌年度に繰り越すべき財源の5,173万5千円を差し引くと、実質収支額が6億2,353万円の黒字になっています。

令和6年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分		歳入 ①	歳出 ②	形式収支 ③ (①－②)	翌年度に繰 り越すべき 財源 ④	実質収支 ⑤ (③－④) 下段前年度	単年度収支
一般会計		25,919,529,009	25,244,263,810	675,265,199	51,734,395	623,530,804 401,616,947	221,913,857
特別会計		7,828,564,122	7,726,749,003	101,815,119	0	101,815,119 139,855,035	△ 38,039,916
特別 会計 の内 訳	集中管理	4,126,850,827	4,126,850,827	0	0	0 0	0
	国民健康保険 事業勘定	2,639,667,466	2,572,845,985	66,821,481	0	66,821,481 105,400,994	△ 38,579,513
	国民健康保険 神代診療施設	73,100,086	73,044,309	55,777	0	55,777 38,487	17,290
	後期高齢者医療	386,741,039	386,581,137	159,902	0	159,902 27,100	132,802
	介護保険	468,778,997	468,636,925	142,072	0	142,072 79,194	62,878
	生保内財産区	93,015,616	66,074,984	26,940,632	0	26,940,632 25,446,396	1,494,236
	田沢財産区	33,556,311	26,307,978	7,248,333	0	7,248,333 8,253,136	△ 1,004,803
	雲沢財産区	6,853,780	6,406,858	446,922	0	446,922 609,728	△ 162,806
総 計		33,748,093,131	32,971,012,813	777,080,318	51,734,395	725,345,923 541,471,982	183,873,941

注：単年度収支＝当年度の実質収支－前年度の実質収支

解説 令和6年度仙北市決算における特記事項

- ◆一般会計の地方債（借金）の残高が、令和5年度末より7億6,533万円少なくなりました。
- ◆一般会計から特別会計及び公営企業会計に繰出した金額が24億円にも上ります。
- ◆ふるさと納税寄付金が38億6,761万3,746円で昨年度を13億円近く上回りました。
- ※半分程が経費ですが、約19億円は、一般財源として運用できます。仙北市はふるさと納税がないと予算が組めない状況にあります。
- ◆水道料金収入は、令和6年9月から値上げして、約1,260万円の増収となっております。
- ◆下水道料金収入は、値上げ前の令和4年度と比較して、約5,100万円の増収となっております。
- ◆病院事業会計（田沢湖病院と角館総合病院の合算）は、過去最大の8億円を超える赤字となりました。
- ◆病院事業は、資金不足比率が35.1%となり、法律により「経営健全化計画」の策定を義務付けられました。
- ◆病院事業は、この10年間で入院患者が3万5千人、外来患者が4万8千人も減少しております。
- ◆病院事業は、この10年間で収入が8億5千万円も減少しております。
- ※病院事業は危機的な状況に陥っております。将来に持続可能な自治体病院の在り方が問われています。



蒼生会
門脇 晃幸 議員

仙北市立病院の維持継続と方向性について

質問 自治体病院の良いところは。

答弁 市民に寄り添った病院であることが最大の良いところと考えている。

質問 自治体病院の果たす役割は何か。また、一定の赤字を織り込んだ経営健全化計画が必要と考えるがどうか。

答弁 採算性や特殊性の面から、民間医療機関では対応が困難である診療に対し、市民の健康保持に必要な医療を提供することが果たす役割と考える。

また、自治体病院の役割を考えたとき、赤字イコールそれがダメだということではないと認識している。

質問 経営問題に対応する院内体制は万全か。また、診療報酬による適宜適切な対応等、国に求め続ける必要があると思うがどうか。

答弁 現状は万全ではない。万全を目指して、現在、院内体制を構築している。また、国の診療報酬

制度の適切な見直しと財政支援を継続して求めていく。そして、自らの経営改善と国による支援の両輪で立て直しを図っていく。

質問 市民が自治体病院に何を求めているのかを含め、あるべき病院像を示す必要があると思うがどうか。そして、目指す病院像への道のりは、大きく舵を振るう改革が必要と考える。その覚悟はあるか。

答弁 市民に寄り添った医療を提供し、医療スタッフが一丸となり、愛され信頼される病院づくりに努める。また、大きく舵を振るう改革の必要性は強く認識している。市民が安心して生活できる社会基盤を支え、将来世代へつなぐ持続可能な医療の実現が重要であると考える。

田沢湖病院



角館総合病院



■大きく舵を振るう改革が必要な二つの病院経営



新成せんぼく
西宮 三春 議員

子育て世帯の支援について

質問 令和6年第2回定例会一般質問で提案した、お昼寝コットの導入に向けた時期や規模について伺う。

答弁 市内で偏りが出ないよう平等に実施したいが、スペースの確保等があり、導入可能な施設から段階的に導入を検討していく。

質問 ＊ファミリーサポートセンターを導入する考えは。

答弁 市民から導入してほしいとの声がある。市民同士が支えあい、地域ぐるみで子育てを行う仕組みのファミサポについては令和9年度中に進める病児・病後児保育事業と共に、地域の実情に即した支援策を検討していく。

8月20日豪雨災害について

質問 多くの市民が仙北市公式LINEで情報を得ているが、人命最優先の避難指示等の呼びかけ文面を短く・わかりやすいものにならないか。

答弁 読むことに時間がかかってしまうご指摘を重く受け止め、今

後わかりやすい情報発信を検証していく。

質問 今回のような災害を想定し、孤立地域となりうる地域の非常用備蓄は、分散備蓄となっているが、その管理体制について伺う。

答弁 災害備蓄品は、西木庁舎裏の車庫を備蓄倉庫の拠点とし、一括保全し、各避難所及び庁舎には、一定の量を配置している。山鳩館にも、避難所開設と同時に、非常食と水を消防団が運んでいる。

【その他の質問】

◆運転免許返納制度について

◆高齢者の熱中症対策について



■保護者負担軽減を図ることができるお昼寝コット



公明党
熊谷 一夫 議員

桜木内地区の大雨災害について

質問 ①災害の初動体制は迅速、的確に指揮・命令系統化されていたか。

②現場で被災者の状況確認や孤立集落への対応。

③被災者の相談窓口、周知方法。

④罹災証明書の発行。

⑤水道の復旧、農業被害と支援、国道105号線の復旧見通しについて。

答弁 ①災害対策本部を設置し、各部署長、警察、消防、国、県職員等のメンバーで対応した。

②早急に職員・消防団を派遣し被害状況やニーズを把握。孤立地区へも水・非常食等の支援物資を届けた。

③山鳩館の避難所に相談窓口を設置、LINEやメール、職員のチラシ配布等で周知した。

④8月26日より床上・床下浸水35軒中4軒残し、罹災証明書交付済みである。

⑤水道は今日現在68件が断水。仮設修理を行い9月上旬に仮復旧予定。

定。上桜木内・桜木内地区で水稻約33.5ha、そば約43.2ha、大豆約5.9ha、田沢地区でそばと養殖魚の一部流出被害を確認し復旧支援策を検討する。

鳥屋森橋周辺の国道105号は大型土のうと敷き鉄板で対応、県より規制解除は未定との事である。

骨髄移植・末梢血幹細胞移植ドナー登録の推進をしよう

質問 ドナー登録の普及・啓発とドナー休暇制度の推進、骨髄移植ドナーへの助成金交付の考えはないか。

答弁 骨髄移植ドナー登録は、市広報・HP等で普及・啓発に努める。助成金は、他自治体の取り組み状況や制度の効果、財政面を検証し、可能性についての調査・研究を進める。

【その他の質問】

◆未来へ夢と希望のまちづくりへ少子化対策と移住・定住事業について

◆自然ふれあい温泉館アルパこまくさのリニューアルで温泉の魅力復活を！



田口 寿宜 議員

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 現在の進捗状況を伺う。

答弁 白岩仮校舎については、2026年8月開校を目指す、明確な方針が経営者から示された。

湖畔の本校舎については、候補地であるハートハープ周辺の埋蔵文化財調査の結果、開発が可能との見解が示されていることから、今後は売却か賃貸かについて本格的に交渉を進める。学校設置認可についても、今年度中の申請を目指し準備を進めている。

質問 開校後、もしもの事態が発生した場合、本校舎や土地の在り方についても取り決めておく必要があると考えるがいかがか。

答弁 もし学校運営が計画どおりに進まなかった場合や事業継続が困難になった場合に備え、契約内容に買い戻し特約を盛り込む事を検討している。さらに、売却や賃貸を行った場合に他の用途に転用されたり、第三者に転売されたりする事がないよう、顧問弁護士と

相談しながら覚書を取り交わす計画である。

田沢湖の湖面を安全に利用するために

質問 各種アクティビティで湖面を利用される方々が安心・安全に楽しんでいただけるよう、県とも協議を進めながら田沢湖湖面利用適正化条例（仮称）を制定する事も必要ではないか。

答弁 田沢湖湖面利用適正化推進協議会で作成したルールの周知を図り、その延長線上に条例の制定という事もあると思う。管理する県とも情報共有を図り、安心・安全に田沢湖でアクティビティを楽しんでいただけるような環境を実現するよう努力していく。



■みんなが安全・安心に楽しめる田沢湖へ



荒木田俊一 議員

仙北市誕生から二十年となるが、この先の仙北市の姿は

質問 新市合併時に描いた姿と現状には乖離があるが、この先の仙北市の姿は。

答弁 様々な過去の遺物の解体や負の遺産を整理していく。若い世代が暮らしやすく働きやすい雇用の環境を整え、しがらみなく活動できる仕組みを広げていく。農業や観光産業は高付加価値化を目指す。

質問 田沢湖病院を今後とも病院機能として維持していくのか。

答弁 慢性的な経営状況の赤字化は許されるものではない。市民に支持いただく医療の再構築が必要であり、安定的かつ持続的に医療を提供できる環境づくりのため経営健全化計画の策定に繋げる。

質問 イノシシによる被害が拡大しているが、農道や農業施設の復旧への支援はできないか。また、箱檻やワナの増強も必要ではないか。

答弁 捕獲の成果が出ていない現状であり、被害復旧支援の制度設

計を検討し来年度の予算化を目指す。檻やワナの増強についても予算化を目指し、狩猟強化も検討する。

質問 ふるさと納税返礼品の米は食品衛生法の検査が実施されているのか。検査をしていないのであれば推奨し、支援していく必要はないのか。

答弁 少量を検査した以外は実施されていない。消費者の安心と市の信用を守るためにも、検査を推奨するだけでなく、費用の一部を支援できる仕組みを検討していく。



■ふるさと納税の返礼品で人気の仙北米

◆その他の質問

◆松木内、上松木内の大雨災害における農地の復旧について



新成せんぼく
青柳宗五郎 議員

記録的な大雨により、住宅の浸水や農業被害、断水等、つのる不安解消の為の今後の対応について

質問 国・県・仙北市の対応は。

答弁 現状復帰だけでは、リスクを回避できないため、激甚災害指定等の要望とともに、再発防止の措置についても国に要望していく。浸水により住宅が床上・床下の被害に遭われたお宅に対し、市や県からの見舞金を支給し、応急修理する場合は、費用の一部を国の災害救助法に基づき助成していく。



■8月の上松木内地区を襲った大雨の状況

田沢湖の護岸工事について

質問 未完成部分はどのくらいあるのか。

答弁 田沢湖の護岸工事は秋田県の事業として平成13年から平成26年度に実施し、湖岸の整備は、宅地・田畑・観光施設などの一般資産、湖岸道路等の公共施設を浸食から守ることを目的に、湖岸延長19.8kmのうち損傷の激しい護岸及び浸食の著しい区間の合計6.805mの整備を実施した。未完成部分は約13kmだが、その区間は、現況の地形及び護岸の機能が維持され、安全性が確保されていると考えている。

質問 未完成部分の13kmの整備について、これから先、国・県に対し要望していく考えを伺う。

答弁 (建設部長) 護岸整備の要望があれば、現地を確認し、仙北地域振興局建設部等の関係機関へ要望していきたい。



■浸食が著しい田沢湖畔



蒼生会
高橋 輝彦 議員

田口市政 一期目4年間の検証と今後の取り組みについて

質問 保育園の給食費・保育料及び、高校生までの医療費無償化を実施してきたが、出生数の増加には至っていない。小・中学生の給食費無償化はどうか。

答弁 本来、国がやるべき事と思っているが、市としても無償化に向けて前向きに検討したい。

質問 角館高校への「地域みらい留学」による県外からの入学受け入れ推進のため、クリオンの自炊棟を宿泊施設として提供してはどうか。

答弁 自炊棟を大雨で被災した方々への提供を検討したが、老朽化が激しく活用には大幅な改修が必要であり、課題が多いと考えている。

質問 インターナショナル



■角館高校の宿泊施設に提案されたクリオンの自炊棟

ルスクール白岩仮校舎は今年9月開校予定だったが、来年8月に延期されることで、改修工事や学校としての認可はどうなるのか。

答弁 白岩仮校舎の寄宿舎とする空き家の準備が遅れているため開校を延期する。本校舎予定地の田沢湖ハートハープは、売却を勧めており、今後、改修工事の調査が始まるが、工事は来年3月か4月の予定である。学校の認可はまだである。

質問 仙北市は2つの病院経営の岐路に立っている。市として国への支援や診療報酬の引き上げを要望しているか。また、人口2万2千人の市が2つの病院を経営していく覚悟を伺う。

答弁 国への支援は全国市長会と共に要望していく。市の財政は非常に厳しく、補助金を無限に出すことはできない。院長をはじめとし、職員も強い危機感を持つべきとの思いで、経営健全化計画策定に至った。これを基に私も関わり両病院の経営改善に取り組む。

その他の質問 ◆上野庁舎供用開始後の各部所の再配置について

特集 8/19～21 大雨災害状況（上桧木内地区）

8月19日から21日にかけて前線や暖かく湿った空気の影響により降り続いた大雨で、降り始めからの48時間降水量が桧木内地区で319ミリとなり、桧木内川が氾濫し大きな被害がありました。

被災された市民のみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。



■8/20 桧木内川が氾濫



■桧木内川氾濫によりえぐり取られた路肩



■床上浸水住家の災害廃棄物



■全国各地から参集したボランティア



■市議会（蒼生会）のボランティア活動



■山鳩館での炊き出しボランティア

総務文教常任委員会

ふるさと仙北応援基金積立金へ 12億円の増額補正

8月定例会の総務文教常任委員会では、令和5年10月に大幅に改正された国の空き家等対策の推進に関する特別措置法と整合性を図るため「仙北市空き家等の適正管理に関する条例の全部を改正する条例制定について」や、令和6年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

■令和7年度 総務部・企画部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

ふるさと納税ふるさと便 仙北市魅力発信事業費	6億5,280万円	ふるさと納税返礼品などの経費
ふるさと仙北応援基金積立金	12億円	ふるさと仙北応援基金の積立金増額
情報通信施設管理運営費	306万円	光ファイバーケーブル復旧工事費
クニマス里帰りプロジェクト事業費	29万円	クニマス 30 匹の借り受けに係る費用
定額減税補足給付金事業費	3億1,912万円	定額減税の追加給付金（国庫金）
勤労青少年ホーム費	636万円	LED照明に交換（軽運動室、テニスコート）

令和7年度 一般会計補正予算の主な質疑

◆ふるさと納税返礼品について

質問 返礼品の状況は大丈夫か。

答弁 返礼品の取り扱い事業者や中間事業者と相談をし、不足しないよう調整している。また、申込みが過剰にならないよう、金額等も都度調整・管理を図りながら進めている。今の所は何とかなる。

◆勤労青少年ホーム費について

質問 軽運動室、外ノ山テニスコートの照明をLED照明に交換するとの事だが、工事の時期と工期について伺う。

答弁 工事の時期については、予算可決後、速やかに業者に発注したい。工期については、1面を工事するのに3日程度で出来るという事で日数はそんなにかからない。

令和6年度 一般会計歳入歳出決算認定審査の主な質疑

◆ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業について

質問 納税していただく事も大事な事だが、今後は、観光部門との連携を図り、納税していただいた方々に仙北市の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る事も視野に入れて行くべきと考えるが見解を伺う。

答弁 返礼品は特産品等だけではなく、仙北市のアクティビティ関係のコンテンツも返礼品にしている。観光部門とも相談をし、連携を図りながら力を入れていきたい。

◆移住体験推進事業費について

質問 10件の相談があり、3件の体験を通じて実際に移住されたのが2件との事だが、目標はあるのか。

答弁 令和6年度は20人を目標として考えていたが、正直な所、こちらの認識が甘かった。今年度も含め相談は入って来ているが、興味を持っていただいた上で、更に、こちらに足を運んでいただく事に一つの壁がある。実際に移住となると様々な調整や決断が必要という事で、20人の目標までは至っていない現状である。

◆給食費の未収入について

質問 多額の収入未済額があるが、総合給食センターの職員だけでの対応は非常に大変な事である。収納推進課と連携を図りながら徴収に努めるべきではないか。

答弁 そのように進めるよう、検討していきたい。

(田口 寿宜 記)

市民福祉常任委員会

安心子育て応援事業費（産後ケア支援事業）へ 151万円追加補正

8月定例会の市民福祉常任委員会では、令和7年度一般会計補正予算及び令和6年度決算について審査されました。街灯費や安心子育て応援事業費、心の健康づくり自殺予防対策事業費等について議論されました。

■令和7年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

街灯費	217万円	市内一円の街灯修繕費不足分を増額
認可保育園等会計年度職員費	238万円	白岩小百合保育園に会計年度任用職員1名を7月から採用
安心子育て応援事業費	151万円	産後ケア支援事業の利用回数が増加したことにより増額

令和6年度 一般会計歳入歳出決算認定審査の主な質疑

◆街灯費の管理運営について

質問 街灯費 2,237 万円について、市で管理している街灯数はどのようになっているのか。また、電気代が高騰しているが、電気使用料はどのようになっているのか。

答弁 市で管理している街灯数は令和6年度末で 2,365 灯となっている。電気使用料は令和5年度決算額が約 1,090 万円、令和6年度決算額が約 1,270 万円となっているので、約 180 万円増加している。

◆はなさき仙北への補助金について

質問 社会福祉法人はなさき仙北補助金約 2 億 9,204 万円について、昨年比で約 4,735 万円減少しているが、減少理由は何か。

答弁 計画的な修繕経費等の節減、経営改善等により、減少したものと考えている。

令和6年度 病院事業会計決算を認 (単位：千円)

	角館病院	田沢湖病院	合 計
医業収益	3,238,086	538,779	3,776,865
医業費用	3,998,699	957,129	4,955,828
医業利益	△ 676,669	△ 418,350	△ 1,095,019
医業外収益	287,603	228,169	515,772
医業外費用	157,491	38,021	195,512
経常損失	△ 630,501	△ 190,181	△ 820,682
特別利益	10,017	1,048	11,065
特別損失	0	0	0
純損益	△ 620,484	△ 189,133	△ 809,617

【参考】令和5年度 仙北市病院事業会計決算 (単位：千円)

	角館病院	田沢湖病院	合 計
純損益	△ 344,879	△ 1,607	△ 346,486

◆医療DX関連事業について

質問 PHR 管理運営費約 1,000 万円について、アプリ説明会、ダウンロード数はどのようになっているか。また、費用対効果についてはどのように考えているのか。

答弁 説明会は3会場で実施し、参加者は各会場2～3名程度だった。ダウンロード数は300件の目標に対し、192件であり、経費のほとんどはサーバー使用料、アプリ等の管理費であり、来年度は中身を考えて実施したい。

令和6年度 病院事業会計決算認定の主な質疑

質問 両病院の入院・外来患者数は角館病院の入院患者が約 2,000 人増えている以外は減少しているが要因について分析しているのか。

答弁 田沢湖病院は周辺人口の減少が大きい。治療行為に時間とお金をかけずに薬局での薬で済ませる傾向があり、患者数が減っている。角館病院では入院患者が消化器科で前年比 1,000 人増加し、整形外科も大雪の影響と思うが 400 人増加した。外来はコロナが5類になり、発熱外来の患者が大きく減少した。

(小田島 広仁 記)

産業建設常任委員会

大雨被害による市道、林道等の災害復旧費として 2億8,015万円を追加

8月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和7年度一般会計補正予算や令和6年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和6年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。一般会計補正予算では、大雨被害となった市道、河川、林道、農道等の災害復旧費として最終日に2億8,015万円の追加となりました。

令和7年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

多面的機能支払交付金事業費	442万円	2団体の活動面積増加と1団体の加算メニューの追加
クマ類総合対策事業費	25万円	緊急狩猟を実施する上での最低限の備品購入費
西宮家管理運営費	△359万円	西宮家廃止に伴う補助金返還金
被災中小企業支援事業費補助金	250万円	被災した市内中小企業への支援補助金
林業施設災害復旧費	7,425万円	大雨災害による林業施設の復旧費
公共土木施設災害復旧費	1億9,894万円	大雨災害による土木施設の復旧費

令和7年度 一般会計補正予算の主な質疑

◆多面的機能支払交付金について

質問 加算メニューの詳細を伺う。

答弁 10個の多面的事業活動組織の加算メニューがあり、必ず一つ選択しなければならないルールだが、更に一つ計画に組み入れて活動すると10a 300円が加算となる。

◆クマ類総合対策事業費について

質問 具体的な備品の内訳は。また、9月1日から緊急狩猟が可能となったがマニュアル作成の遅れはないか。

答弁 安全確保のためヘルメット3個、防刃防護服3着、透明防護盾3基である。マニュアルについては県の案との整合性を図るため若干遅れたが、書面決議により対応している。

◆商工業振興費 西宮家について

質問 西宮家のトイレ改修工事は、JR東日本側にも負担をお願いしたのか。

答弁 国の補助金を活用して改修しているため、市で負担することになっている。

令和6年度 公営企業会計決算を認定 (単位：千円)

会計名	事業名	収入	支出	収差引額	企業債残高
公営 企業会計	温泉事業	53,967	57,076	△3,109	77,904
	水道事業	472,644	598,294	△125,650	3,835,947
	下水道事業	857,230	853,370	3,860	4,561,837

令和6年度 公営企業会計決算 認定の主な質疑

温泉事業 温泉使用料の値下げが難しい中、カラ吹き源泉からの再供給の考えは。

答弁 カラ吹き源泉自体が減退しており、現在も供給している1施設以外は考えていない。

水道事業 企業債の金利と借り換えの可能性はあるか。

答弁 金利は現在1.1%で令和5年度頃より急激な上昇となっている。繰り上げ償還は可能であるが、手数料が発生するため利息と手数料を比較検討した結果、現在の形で返済していきたい。

下水道事業 当年度純利益が大幅に増加した理由は。

答弁 昨年度途中から実施した料金改定と固定資産の除却費が大きく減少したことが主な理由である。

(武藤 義彦 記)

仙北市議会の議員活動紹介

雫石町議会議員との交流会

10月3日に田沢湖町議会時代から情報交換している雫石町議会議員との交流会が開催されました。

今回は、しずくしい観光協会事務局長の高橋基氏を講師に、雫石の観光・文化・人の魅力を最大限に活用したDMOによる地域振興の取り組みについての講演を拝聴しました。



DMOによる観光戦略を聴講する議員たち

議会広報編集

特別委員会視察研修

10月9日に北上市議会を訪問し、市民の目を引く斬新な表紙、市民が興味を持って見てくれるイラストや写真の構成、そして、一般質問の編集など、「市議会だより」の作成を勉強してきました。今後の編集に活かしていきたいと思っています。



北上市議会広報委員との記念撮影

新成せんぼく 視察研修

長野県軽井沢町で2020年に開業した「ほっちのロッヂ」を視察。この施設は、診療所、在宅医療、病児保育、訪問看護・共生型通所介護・児童発達支援・放課後等デイサービスなどを担う場所であり、ゆるい「診療所」から連想するイメージとは異なり、まるで別荘のような雰囲気がありました。医師・看護師・スタッフ全員が私服、患者や利用者と医師の関係性ではなく、人と人という関係性を大切にし、自分の好きな暮らしを医療と共に考えるところとして、地域医療の成功事例を学ばせていただきました。



ほっちのロッヂで視察した議員たち

(西宮三春記)

人事案件

(敬称略)

教育委員

阿部 慶太 (66歳) 【新任】
西木町上松木内字桁沢

人権擁護委員

堀井 英和 (44歳) 【新任】
角館町川原寺前

高階 栄子 (64歳) 【新任】
角館町白岩前郷

田口 陽三 (72歳) 【再任】
田沢湖生保内字黒沢

選挙管理委員

雲雀 秀人 (71歳) 【新任】
角館町下菅沢

富岡 明 (68歳) 【新任】
角館町岩瀬下夕野

佐藤 人志 (67歳) 【新任】
西木町上荒井字寺村

高橋 精一 (66歳) 【新任】
田沢湖梅沢字森腰

選挙管理委員補充員

渡辺 久信 (68歳) 【新任】
角館町下川原

菅原 秋日人 (68歳) 【新任】
角館町広久内下夕町

芳賀 昭範 (66歳) 【新任】
西木町松木内字松葉

草薨 雅人 (63歳) 【新任】
田沢湖生保内字沼田

編集後記

河川改修工事も終わっていたし「まさか」「あつ」という間違った」と予想外の松木内川氾濫に戸惑い、水の勢いを目の当たりにし被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の定例議会は、10月執行される市長選挙と絡んで、8月22日開会。大水害発生から3日目でした。被災された皆さまの日常生活が早く取り戻せるように復旧予算措置も急ぎました。

停電・断水・トイレやお風呂などままならず当たり前の生活からの分断は心労が伴います。復旧が進んでいるとはいえ、どうかご自愛くださいますように。

市が取り組んでいる事業推進を続けたい意向が田口市長から感じ取ることができました。インターナショナルスクール誘致事業の本校舎設置場所湖畔ハートハーブを売却の方向で検討されていることを確認できました。市民の思いはいかがでしょうか。

(平岡裕子委員長記)